

2020年度（2021年3月期） 第3四半期 決算補足説明資料

2021年2月5日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想と大きく異なる場合があります。

I . 2020年度（2021年3月期）第3四半期決算

連結損益比較表 (サマリー)

	2020年度3Q末	2019年度末	比較増減	
連結子会社	96社	93社	+3社	増加：4社 減少：1社
持分法適用関連会社	11社	11社	-	
合計	107社	104社	+3社	

(単位：百万円)

	2020年度 3Q累計	2019年度 3Q累計	比較増減	増減率	主な増減要因
営業収益	394,037	583,678	△189,641	△32.5%	
営業利益	△4,841	91,015	△95,856	—	次ページ参照
営業外収益	3,374	8,597	△5,222		持分法による投資利益 △4,750
営業外費用	8,354	9,577	△1,223		
経常利益	△9,821	90,034	△99,855	—	
特別利益	7,726	1,153	+6,572		雇用調整助成金 +7,098
特別損失	16,846	1,302	+15,543		新型コロナウイルス関連損失 +15,357
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△16,858	58,968	△75,827	—	税金費用 △32,913
(参考)					
減価償却費	41,000	41,580	△580		
金融収支 (A) - (B)	△5,728	△5,623	△105		
受取利息及び配当金 (A)	975	1,369	△394		
支払利息 (B)	6,703	6,992	△288		

2020年4月22日に日本公認会計士協会より公表された通達「新型コロナウイルス感染症に関連する監査上の留意事項（その4）」に基づき、政府や地方自治体による要請や声明等により、営業を停止又はイベントの開催を中止した際に、当該営業停止期間中に発生した固定費や、当該イベントの開催準備及び中止のために直接要した費用等は特別損失に計上しています。

セグメント別営業成績（サマリー）

【当期業績のポイント】

都市交通事業をはじめ、エンタテインメント事業、ホテル事業、旅行事業、不動産事業など、多くの事業で新型コロナウイルスの影響（次ページ参照）を大きく受けたため、大幅に減収・減益

（単位：百万円）

	都市交通	不動産	エンタテインメント	情報・通信	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益	新型コロナウイルスの影響 △506億円	△212億円	△347億円		△233億円		△383億円			△1,768億円
2020年度3Q累計	116,097	125,907	28,782	39,407	8,118	58,478	14,762	32,224	△29,741	394,037
2019年度3Q累計	174,813	175,498	62,028	39,935	30,700	57,426	48,711	25,046	△30,482	583,678
比較増減	△58,715	△49,591	△33,246	△527	△22,582	+1,052	△33,949	+7,178	+741	△189,641
営業利益	△393億円	△79億円	△153億円		△106億円		△144億円			△872億円
2020年度3Q累計	△3,735	19,106	△1,575	3,267	△7,448	1,029	△13,580	908	△2,813	△4,841
2019年度3Q累計	36,197	32,713	15,171	3,292	4,536	△255	417	1,125	△2,183	91,015
比較増減	△39,932	△13,606	△16,746	△25	△11,984	+1,284	△13,998	△217	△630	△95,856

各事業における新型コロナウイルスの影響について（2020年度3Q累計）

■ 各事業における新型コロナウイルスの損益影響額

（単位：億円）

	連結 合計	[主な内容]				
		都市交通	不動産	エンタテインメント	旅行	ホテル
営業収益	△ 1,768	△ 506	△ 212	△ 347	△ 233	△ 383
営業利益	△ 872	△ 393	△ 79	△ 153	△ 106	△ 144
経常利益	△ 871	△ 394	△ 77	△ 153	△ 105	△ 146
特別利益 ※1	72	5	4	7	36	19
特別損失 ※2	155	10	25	44	40	35
税金等調整前四半期純利益	△ 954	△ 399	△ 98	△ 190	△ 110	△ 161

※1 雇用調整助成金等

※2 新型コロナウイルス関連損失等

■ 各事業における主な内容

都市交通	緊急事態宣言の発令等に伴う外出自粛、インバウンド需要の減少等による減収
不動産	商業施設の一時休館や営業時間の短縮、国内マンション事業の販売活動休止等による減収
エンタテインメント	プロ野球の公式戦主催試合の減少、宝塚歌劇の公演中止、イベント開催制限措置の影響等による減収
旅行	海外・国内ツアーの催行中止等による減収
ホテル	インバウンド需要や、旅行・出張・宴会の取りやめによる国内需要の減少等による減収

都市交通セグメント

新型コロナウイルスの影響

営業収益 △506億円

営業利益 △393億円

新型コロナウイルスの影響を受け、鉄道事業・自動車事業とも旅客数が大きく減少したこと等により、大幅に減収・減益

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	116,097	174,813	△58,715	△33.6%
営業利益	△3,735 ※ (△4,259)	36,197 ※ (△40,456)	△39,932 (△40,456)	— (—)

※ 営業利益の（ ）内は、特別損益に計上した助成金（新型コロナウイルスの影響によるもの）及び新型コロナウイルス関連損失を戻し入れた数値を表示しています。

不動産セグメント

新型コロナウイルスの影響

営業収益 △212億円

営業利益 △79億円

マンション分譲において前年同期に大規模物件の竣工・引渡があったほか、新型コロナウイルスの影響を受け、梅田地区をはじめ多くの商業施設で一時休館や営業時間の短縮を実施したこと等により、大幅に減収・減益

【参考】マンション分譲戸数[当社グループの持分戸数]：△898戸（前年同期 1,308戸 → 当期 410戸）

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	125,907	175,498	△49,591	△28.3%
営業利益	19,106 ※ (16,967)	32,713 ※ (△15,745)	△13,606 (△15,745)	△41.6% (△48.1%)

※ 営業利益の（ ）内は、特別損益に計上した助成金（新型コロナウイルスの影響によるもの）及び新型コロナウイルス関連損失を戻し入れた数値を表示しています。

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収入				人員			
	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	増減率	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	30,231	48,173	△17,941	△37.2	153,670	241,722	△88,052	△36.4
定期	21,209	26,037	△4,828	△18.5	210,931	266,420	△55,488	△20.8
うち通勤	19,330	22,355	△3,024	△13.5	163,680	184,073	△20,392	△11.1
うち通学	1,878	3,682	△1,804	△49.0	47,250	82,347	△35,096	△42.6
合計	51,440	74,211	△22,770	△30.7	364,601	508,142	△143,541	△28.2

新型コロナウイルスの影響 △231億円

《阪神電気鉄道》

	収入				人員			
	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	増減率	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	10,167	17,073	△6,906	△40.4	56,493	92,971	△36,478	△39.2
定期	7,902	9,372	△1,469	△15.7	81,381	97,736	△16,354	△16.7
うち通勤	7,355	8,367	△1,011	△12.1	68,731	76,491	△7,759	△10.1
うち通学	546	1,004	△458	△45.6	12,650	21,245	△8,594	△40.5
合計	18,069	26,445	△8,375	△31.7	137,874	190,707	△52,832	△27.7

新型コロナウイルスの影響 △85億円

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示しています。
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいます。
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計です。

エンタテインメントセグメント

新型コロナウイルスの影響

営業収益 △347億円

営業利益 △153億円

新型コロナウイルスの影響を受け、スポーツ事業において阪神タイガースの公式戦主催試合が減少したことや、ステージ事業において宝塚歌劇の多くの公演を中止したことに加え、両事業とも興行の再開後にイベント開催制限措置の影響を受けたこと等により、大幅に減収・減益

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	28,782	62,028	△33,246	△53.6%
営業利益	△1,575 ※ (△5,091)	15,171 ※ (△20,262)	△16,746 (△20,262)	— (—)

※ 営業利益の（ ）内は、特別損益に計上した助成金（新型コロナウイルスの影響によるもの）及び新型コロナウイルス関連損失を戻し入れた数値を表示しています。

情報・通信セグメント

情報サービス事業において前年同期に交通システム分野で大型案件を受注していた影響等により減収となったものの、放送・通信事業においてインターネットサービスの加入者が増加したこと等により、利益は前年同期並み

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	39,407	39,935	△527	△1.3%
営業利益	3,267	3,292	△25	△0.8%

旅行セグメント

新型コロナウイルスの影響
営業収益 △233億円
営業利益 △106億円

第3四半期だけでみれば国内ツアーが好調に推移し黒字を計上したものの、新型コロナウイルスの影響を受け、期を通じて海外ツアーの催行を中止したほか、国内ツアーも前年同期比では集客が下回ったことにより、大幅に減収・減益

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	8,118	30,700	△22,582	△73.6%
営業利益	△7,448 ※ (△7,881)	4,536	△11,984 ※ (△12,418)	— (—)

※ 営業利益の（ ）内は、特別損益に計上した助成金（新型コロナウイルスの影響によるもの）及び新型コロナウイルス関連損失を戻し入れた数値を表示しています。

国際輸送セグメント

新型コロナウイルスの影響を受けたものの、東アジアにおいて緊急輸送の取扱があったことや、日本においてロジスティクス事業の取扱が増加したこと、また販売価格が上昇したこと等により、増収・増益

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	58,478	57,426	+1,052	+1.8%
営業利益	1,029	△255	+1,284	—

ホテルセグメント

新型コロナウイルスの影響

営業収益 △383億円

営業利益 △144億円

新型コロナウイルスの影響を受け、一部ホテルを一時休館したほか、宿泊部門・料飲部門ともに利用者数が大きく減少したことにより、大幅に減収・減益

	2020年度3Q累計	2019年度3Q累計	比較増減	(単位：百万円) 増減率
営業収益	14,762	48,711	△33,949	△69.7%
営業利益	△13,580	417	△13,998	—
	※(△15,126)		※(△15,543)	(—)

※ 営業利益の（ ）内は、特別損益に計上した助成金（新型コロナウイルスの影響によるもの）及び新型コロナウイルス関連損失を戻し入れた数値を表示しています。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年度3Q末	2019年度末	比較増減	主な増減要因	
資産の部	流動資産	309,943	262,984	+46,959	販売土地及び建物 +26,043
	固定資産	2,259,382	2,226,097	+33,285	投資有価証券 +26,137
	資産合計	2,569,325	2,489,081	+80,244	
負債の部	流動負債	410,394	394,634	+15,760	
	固定負債	1,236,749	1,156,774	+79,974	
	負債合計	1,647,144	1,551,409	+95,734	
純資産の部	株主資本	855,597	886,935	△31,338	親会社株主に帰属する四半期純利益 △16,858 支払配当 △12,188
	その他の包括利益累計額	24,819	18,711	+6,108	
	非支配株主持分	41,765	32,025	+9,739	
	純資産合計	922,181	937,672	△15,490	
自己資本比率	34.3%	36.4%	△ 2.1P		

	2020年度3Q末	2019年度末	比較増減
借入金	801,994	773,465	+28,528
社債	157,000	122,000	+35,000
三菱・アール・エー	75,000	-	+75,000
リース債務	10,790	8,014	+2,775
連結有利子負債	1,044,784	903,480	+141,304
未払金	△37,496		

Ⅱ. 2020年度（2021年3月期）通期業績予想

連結損益比較表 (サマリー)

	2020年度		比較増減 = ① - ②	増減率	主な増減要因	(単位：億円)	
	今回予想 ①	2020年度 11月予想 ②				2019年度 通期実績 ③	比較増減 = ① - ③
営業収益	5,750	5,750	-	-	本年1月に発令された緊急事態宣言以降の新型コロナウイルスの影響は不透明であるものの、エンタテインメント事業等において第3四半期までの業績が想定を上回ったこと等を勘案し、前回(2020年11月)発表予想から	7,627	△1,877
営業利益	△90	△120	+30	-	上方修正	952	△1,042
経常利益	△210	△230	+20	-	上記の営業利益の増益を見込むこと等により増益	888	△1,098
親会社株主に帰属する 当期純利益	△360	△360	-	-	上記の経常利益の増益を見込む一方で、本年1月に発令された緊急事態宣言の影響を受け、新型コロナウイルス関連損失の増加が見込まれること等により、前回(2020年11月)発表予想を据置	549	△909

経営指標・株主還元

■ 経営指標

	2019年度実績	2020年度 11月発表予想	2020年度 今回発表予想
営業利益	952億円	△ 120億円	△ 90億円
EBITDA ※1	1,541億円	470億円	500億円
有利子負債	9,035億円	10,700億円	10,700億円
有利子負債／ EBITDA倍率	5.9倍	22.8倍	21.4倍
D／ Eレシオ ※2	1.0倍	1.2倍	1.2倍
親会社株主に帰属する当期純利益	549億円	△ 360億円	△ 360億円
ROE	6.1%	△ 4.1%	△ 4.1%
(参考)			
ネット有利子負債 ※3	8,785億円	10,450億円	10,450億円
ネット有利子負債／ EBITDA倍率	5.7倍	22.2倍	20.9倍

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 ※2 D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本

※3 ネット有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び預金

■ 2020年度（2021年3月期）の利益配分

- 2020年度の利益配分については、2020年8月12日に発表したとおり、安定的な配当を維持することとし、年間配当金は**2019年度と同様に1株あたり50円**（中間25円・期末25円）を予定しています。

《参考》足元の状況

■ 鉄道輸送人員（対前年比較）

（注 9月については、前年度の消費税率の引上げに伴う先買いの反動を含む）

